

水牛通信

VOL.2 NO.5
毎月1回・10日発行
定価200円

スライド「もうたくさんだ」

制作者のノート 2

観客にみせる手順のヒント 2

台本 3

フェルナンド 25

やさしいスライドのうつし方 26

集団で討論するためのスライドのつかい方 27

質問の例 28

スライドをみたあとで 28

フィリピンの農民はどのように社会を変えるか

制作者のノート

何百年の間、農民のゆめはふさわしい地位にまでたかめられること、でなければすくなくとも、いま経験しているようなくなるしみをかるくしてもらったことだった。しかし、農民は国の経済の背骨とされているのに、穴からぬけだす機会がなかった。その生活はあらゆる社会層からくるたくさんの圧迫にさらされている。体制が、政治と経済の上で、毎日の生活雑事のほとんどに作用している。

このスライドの目的は、これらの圧迫のいくつかをみせることだ。えらんだスタイルは、ある特定の農民の生活を記録して、情報をあたえるというよりは、勇気と不断の努力の実例をえがきだそうとした。

画面の人物はこのはなしにでてくる人たちだ。この物語は実話で、[注] リノと友人たちとのインタビューをまとめた。制作のあいだ、スタッフはその家に住みこんだ。

制作者としてはこの作品が、
1 農民でない観客にフィリピン農民の状況をおしえ、
2 農民の観客をばげまし、努力によって変化がもたらされることをおもいださせる、

ことをのぞむ。

[注] 一九七九年一月、バガダイアン市教区の二十九人の教会指導者がつかまって、留置された。かれらは十二日後に釈放された。

観客にみせる手順のヒント

- 1 集団で討論するためのこのスライドの使用法(後出)にしたがう。作品を二回みせる。
- 2 みた範囲では、リノのばあいは典型だろうか？ 経済水準でいうと、かれは平均の農民より上か下か？
- 3 観客に、はじめの方の数字を復習してもらおう(黒板に書くとい)。リノ一家の予算を立ててみよう。総計をくらべてみる。
- 4 市場問題について、リノはどうしたらいいとおもうか？ 観客にも生活やしごと上で、似た経験があるだろうか？
- 5 主題歌「フェルナンド」の物語と背景を知っているか？(革命軍がリオ・グランデをわたった夜のおもいで)。ことは別紙。

台本

題名 もうたくさんだ (FED UP)

映写時間 17分30秒

スライド枚数 78枚

制作者 Interim Media Productions

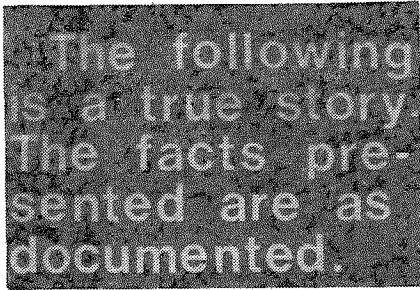
Rizal Avenue, Osamiz City or P.O.Box 177

Mindanao, Philippines

この作品は制作者の許可なしに部分や全体をコピーしてはならない。

©1979 by Interim Media Productions

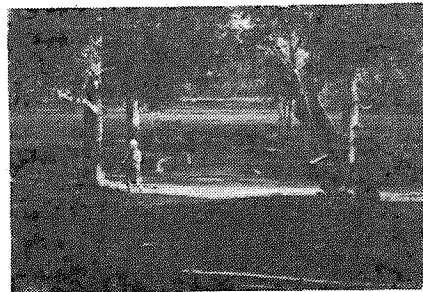
1 (音楽 パンジョーのかけあい)

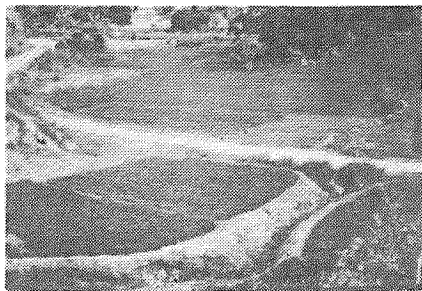


2 (音楽がおわってから)



3 (オンドリときをつくる)





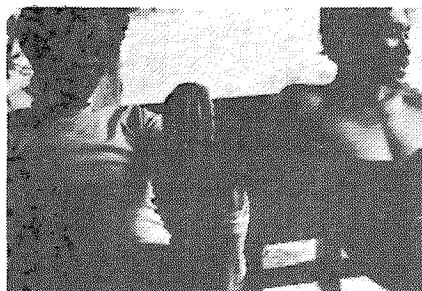
8 そのうち1ヘクタールはオカボだ。



9 A 何をつくって収入はいくらか、
かんたんにいってくれますか？
B ええ、コメはうまくいけば、つ
まり天気がよくて、虫やさび病やネ
ズミにやられなければ、収穫はヘク
タールあたり4000ペソ(12000円)に
なる。これはたいへんいいばあいだ
ね。トウモロコシは年一回しかとれ
ない。これだと平均ヘクタールあた
り8袋、うちではそこまでいってない。



10 A 経費はどうですか？
B ああ、経費ね。おおきいのは肥
料だな。



11 ヘクタールあたりが1200ペソ(36000
円)。クスリをまくのにまあ300ペソ
(9000円)。田植えにはすこしかネを
はらう。刈入れにはすこし割当てを
出す。刈る人と脱穀にはコメではら
う。全部あわせると、



4 (オンドリのあと)



5 (音楽とまきをわる音)



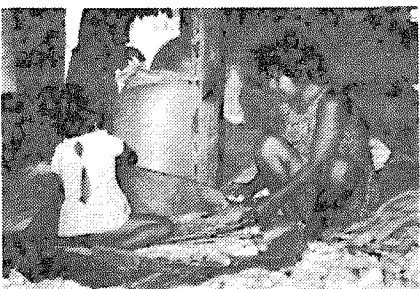
6 A お名まえは？(ピサヤ語会話)
B リノ・テソロ。
A 農民ですか？
B はい。
A 土地はありますか？
B まあね。
A どのくらい？



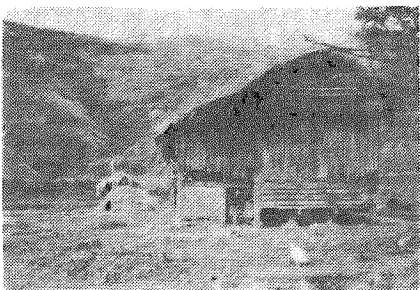
7 B トウモロコシに3ヘクタール、
コメに1ヘクタール半。



- 16 こいつは女房の料理に賃金をはらう
ようなものだな。
A それじゃ純益は……



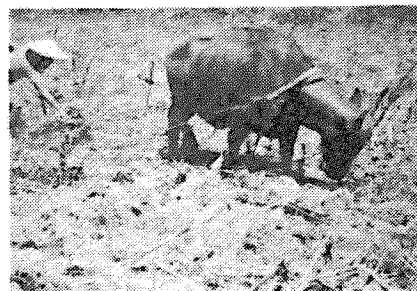
- 17 13 さあ、収穫あたり1200ペソ(330
00円)というところかな。これは、
ヘクタールあたり100袋もとれるい
いときさ。一度もそんなことはない
がね。



- 18 A 土地がなかったら、どうでしょ
うね？
B 自分の土地がなければ、たいへ
んだ。土地がないと、



- 19 15はらう。ヘクタールあたりの小作
料が15袋だ。収穫がよくてもわるく
ても15袋だから、作付けを失敗する
と借りがのこる。



- 12 現金支出はヘクタールあたり2000ペ
ソ(60000円)くらいかな。



- 13 A 手間賃をふくめて？



- 14 B よしてくれよ。まあいいや。手
間賃を1日10ペソ(300円)とすれば、



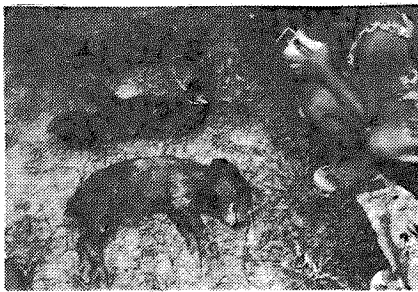
- 15 3カ月で900ペソ(27000円)にはな
る。



- 24 うちのおじさんの土地を通っている。うまくいってるのを見て、おじさんは水路を切って自分でつかえるようにしちまった。
- A ほかに収入源はありますか？



- 25 B 現金がはいるのはないね。うちでたべる野菜をつくって、



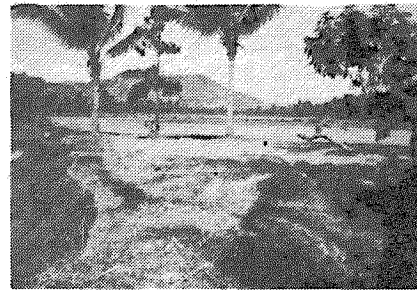
- 26 トリとブタのつがいがかっている。収穫ではいったカネがつきると、たよれるのはそれだけなんだから、それもあまりたよりにはならないけどね。



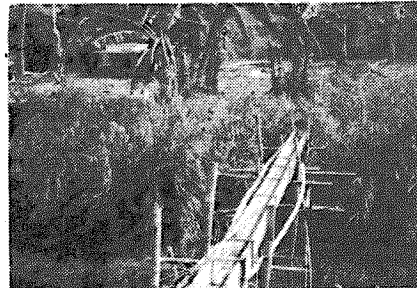
- 20 A 収穫高をふやそうとしたことは？
- B もちろんさ。あたらしい品種もやったし、クスリもまいている。ましがうわけがない。



- 21 クスリをまけばたしかに収穫はふえる。そうだ、日本式の植えかたもためしたよ。
- A かんがいはどうですか？



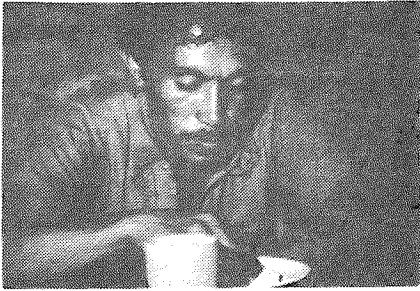
- 22 B 家のそばにちょっとだけだ。この土地はほとんどが、かんがいの高さより上なんだ。たよりは雨だけさ。



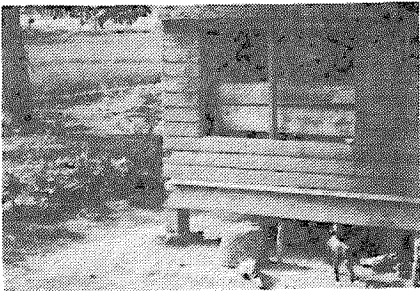
- 23 畑のほんの一部に泉から水をひこうとおもって、用水をこえてくる水路をつくった。
- A それで？
- B ああ、三回とりいれる間はよかったのさ。ところが泉からきた水は



- 31 B 女房がいる。その妹と母親もいっしょだ。それから子ども6人。
妻 6人はいまいる子どもね。
B そう、ひとりほもらいっ子さ。
A もらいっ子?



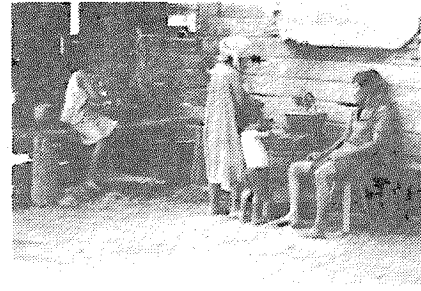
- 32 B 一番下の女の子だ。
妻 ふたり死んだのよ。
B うちの一番下の子はつい先週死んだ。かんおけにする木もなかったから、



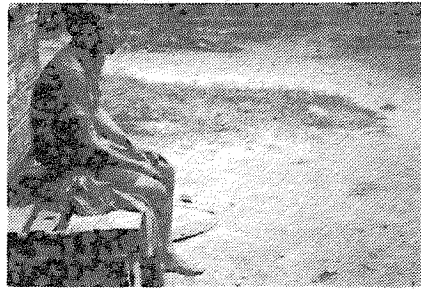
- 33 窓の板をつかったよ。
(音楽 バンジョーのかけあい)



- 34 C (そのときの祈り)天なる父よ、われら今日の午後ここにつどい、この家族のかなしみの時に、みめぐみをつつしんでこいたてまつる。主よ、かれらが日々のつとめをつづける力をかしたまえ。



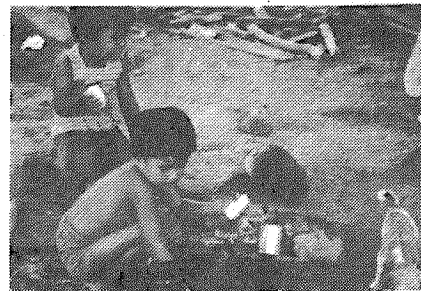
- 27 A いま「収穫ではいったカネがつきると」っていいましたね。それは収入全部あわせても、一家がくらしでいくのにはたりないということ?



- 28 B まさにそうなんだ。かかる費用全部をかぞえあげたら、家、くすり、たべもの、子どもの教育、全部。そうしたらいつだってたりないよ。予算をたてるなんてバカげているってわかるだろう。ペソがおいつく限度があるのさ。
(バンジョー)



- 29 A ご家族は何人?

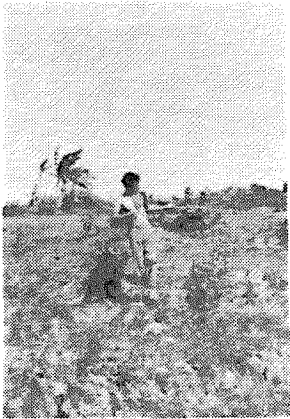


- 30 B 子どものことかい?
A いいえ……そう、扶養家族ね。

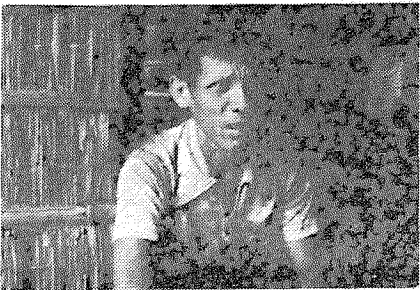


38 (犬がほえる)

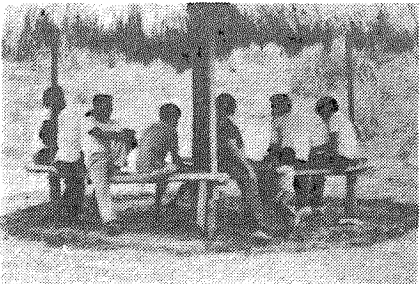
A それじゃ、どうやって状況をよくしようというの？



39 B それはひとりだけじゃできない。協同の努力がいる。



40 ひとりで水牛を屠殺しようとやってみたことがあるかい？



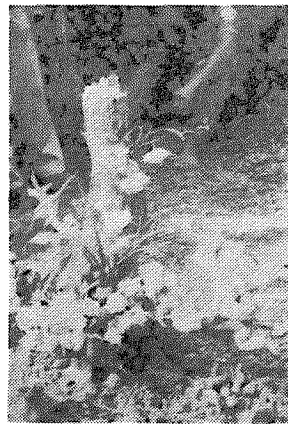
41 何年か前に教会の信者のあいだで組織をつくった。おれたち2、3人が指導者としてえらばれて、訓練をうけにいった。



35 ここにきたものすべてに主の祝福を、主の力とみちびきもて、村が平和をみいださんことを。



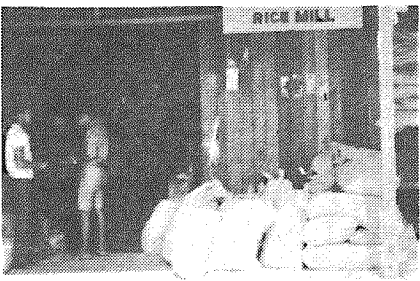
36 おそれのためにためらう仲間には手をかしたまえ、主よ。



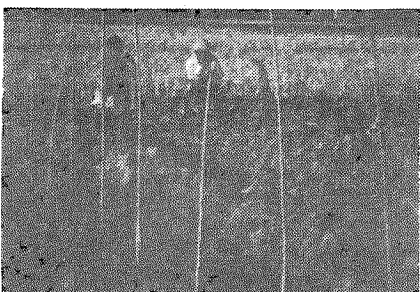
37 われらの歴史のこのときに、われらすべてが真実と正義のためにはたらくべきときに、主よ、だれも欠けるものがないことを。



46 ほら、パガディアンに津波がきたとき、おれたちの組織はまっさきに町へ行って、被災者に家をたてた。あれは気持ちよかったよ。



47 ここの精米所の主人とごたごたがあったこともある。じつは女房のおじなんだ。



48 精米の値段を高くいいすぎてた。そこで2つのグループをつくって、精米所へいく道を2つもおさえた。



49 精米所へいくやつにはみんな、やめたらどうだ、でないとかえり道でぶんなぐるぞとってやってた。



42 講習会でまなんだことをかんがえればかんがえるほど、この状況のまちがっていることが見えてきた。



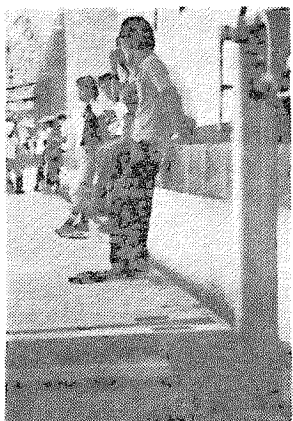
43 はらがへつてるときに歌うたうのはつらいものだけ。



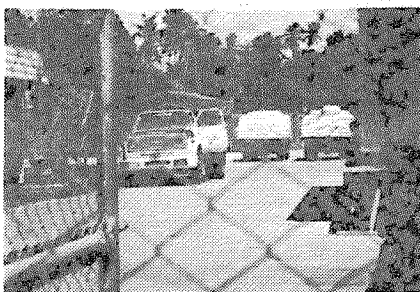
44 A どんな行動のことをいってるの？
B 協同組合をつくる、いっしょに何かやる、



45 たとえば共同体農業、自分たちがまなんだことで講習会をひらく、その講習会はほかの村でもひらけるようにする。



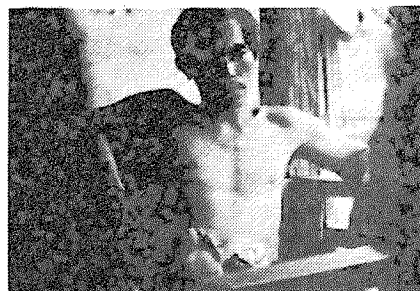
54 B そうだよ。だがNGAに売るんだったら、2、3週間またなきゃならない。



55 大きな取引先からやっていくから、おれたちの番がくるころは、倉庫の外につみあげたコメは芽をふいちまう。



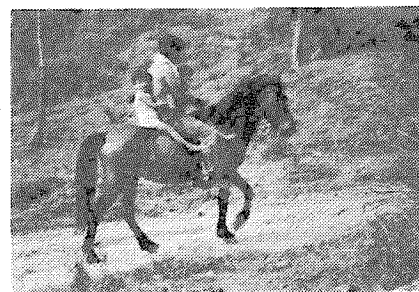
56 運よく番がきたところで、こんどは支払いまで1、2週間またされる。



57 こうなると、仲買人に売らなきゃならない。だからキロあたり60センターボなのさ。こういうことを変える必要があるんだ。



50 二週間だれもいかなかった。そこで、もち主はしかたなく値段をさげることになったのさ。



51 A じゃ、成功したのね。
B あれはだいたい地域問題だったが、



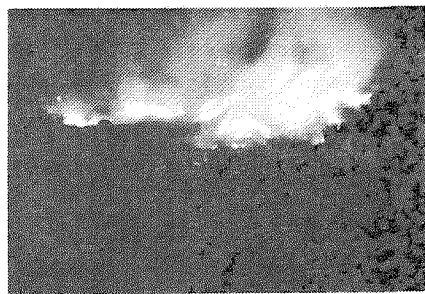
52 問題のほんとうの根は別にある。たとえばコメを売るときは、キロあたりたった60センターボだ。



53 A NGA（国の穀物局）の公定価格はキロあたり1ペソ10だとおもったけど。

よ。わたしらはきもがつぶれてね、もうおしまいだ、といったのはおぼえてるけど、ひざがガクガクして、とまらない。次はビノイの番だってわかった。

(音楽「フェルナンド」)



- 61 B 最近事件があつてね。ゲリラが夜おりてきて、村の警察から銃をとっていったのさ。兵隊が調査にきたときに、教会でのおれたちのちいさなグループにうらみをもつやつらが密告したんだ。

(音楽「フェルナンド」)



- 62 若者 土曜の夜で、ダンスがあつた。だからおれたち、走っていったんだよ。友だちが先にいったもので、たぶん走っておいつけるとおもったんだ。村の公民館の近くまでいったらいきなり銃声が2発、みんながわめきだした。もちろんその場で足がすくんだが、すぐかかんがえた。暗いところにいるほうがあぶない。そこで「おい、おれたちだ。いまきたところさ」とどなって、公民館のほうに走った。いきなり集団でとびかかってきて、おれたちをぶちのめした。あとになって村役場で警察署長がいうには「まあきけよ、おまえらをなぐったのはおれじゃない」と。おれはいったよ。何をいうんです、署長さん。目がみえないとでもおもってるんですか。すると「医者



- 58 公平な分けまえなんてどこにもない。農民はどこにいるんだい？ 国の経済の柱だなんていったってね。

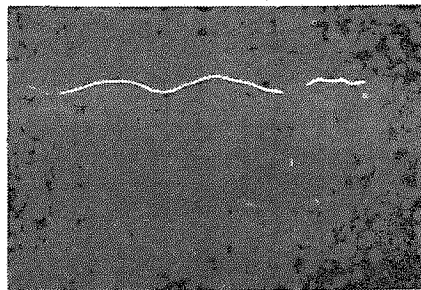
(太鼓。銃の撃鉄)

(音楽「フェルナンド」)

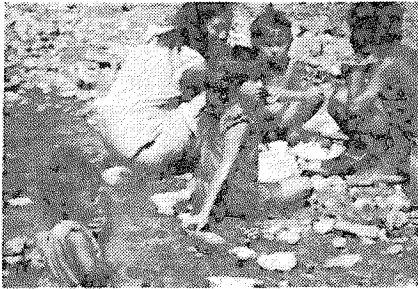


- 59 B 11時半ごろだったかな。どなり声が出た。リノ、リノ、でてこい。警察だ！ すぐにはこたえなかった。おれは窓の割れめからのぞいてみた。40人ほどの武装した兵隊が家のまわりに散開している。マンゴの木のかげにもいる。オカボ畑にふみこんだやつらもいる。この家を穴だらけにするつもりだとおもった。正直なところ、あの夜は生きてでられるとはまったくおもえなかった。

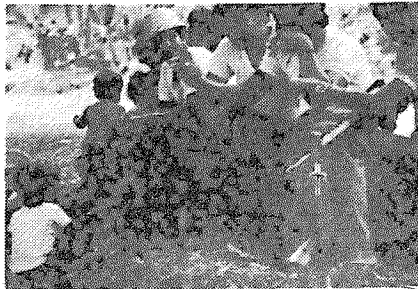
(音楽「フェルナンド」)



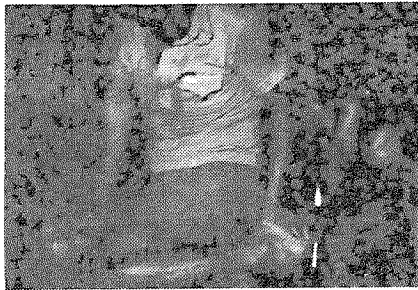
- 60 ビノイの妻 プタがうなつてうるさかったんで、ビノイにみてきてってたのんだのよ。犬にかまれたのかもしれないから。それからリディアがランプをもってやってきて、よぶのよ。「ビノイさん、ビノイさん、おきてよ！ やつらがリノをつかまえにきんだよ！ わたしもいっしょにいくんだから!!」どうしたの、リディア？ 家のまわりは兵隊だらけよ。みてごらん。窓からみると、オカボ畑は兵隊でまっくろさ。月夜でよくみえた



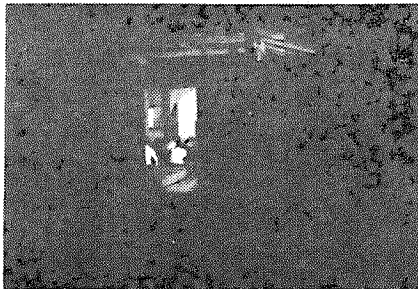
65 B いまは、ほとぼりのさめるのを
まわっていると、おもうな。



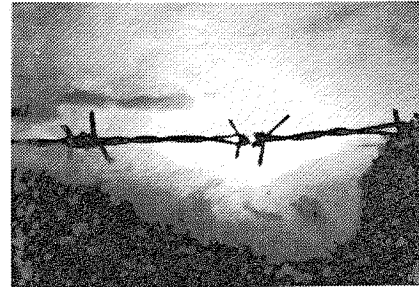
66 村に一分隊が配置されて、みんなは
動きまわるときは気をつけている。
特に夜は外出禁止令がでてるしね。
いつでもおれたちは検問につれこま
れる。
(音楽 はやくなる)



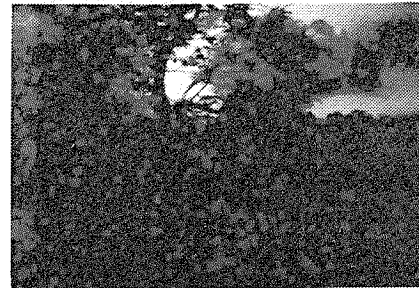
67 A なぜまだうたがっているの？
B さあね。おれたちがどうすべき
かやつらだわらないのさ。つ
れていかれるたびに、やつらがきく
のはおれの名まえだけだ。おれはい
った。「それだけのためにここへく
るんですか、名まえをいうだけに？」



68 神父さんや尼さんに近よるなといわ
れたよ。特に外国人は共産主義者だ
からだめだ、と。



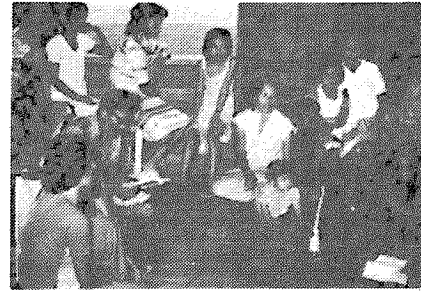
63 B 刑務所じゃ、兵隊とおなじメシ
をくわしてくれ。問題はただ、夜
ねるときさ。土間だし、鉄条網のか
こいはせまくて、おれたち9人が横
になれる広さがない。そこでくふう
して、足をおたがいにかさねあわせ
た。底の方になって足がしびれたら
一番上にうつしかえる。イワシのカ
ンづめみたいになってたわけさ。



64 (音楽 バンジヨーのかけあい)
A それから村はどうになりました？



73 (音楽 バンジョー、はやく)



69 そんなことが心配なら、教会をやきはらったらどうですかといってやった。



74 (音楽がやむまえに)



70 わかるだろう、おれたち貧乏人の経験する死というやつは一番くるしい死にかただ。それが一番こわいのは朝めしにたべるものが充分ないとき、



75 ほかに何ができるかね！

(音楽「フェルナンド」リフレン)

あの夜はなにかがありそうで
星はかがやいていたよフェルナンド
私たちのためにね
自由のためさフェルナンド



71 子どもを学校へやれないとわかるとき、だれかが病気のときだ。これはゆっくり死んでいくことだ。

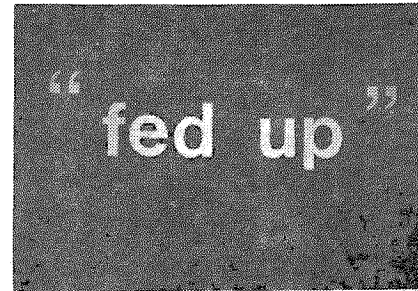


76 まけるなんておもわなかったが
くいはないさ
もう一度やれというなら
またやるさ、ねえフェルナンド

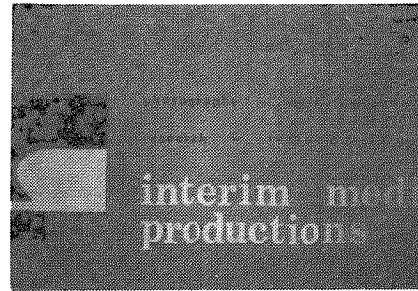


72 拷問にかけられるようなものさ。ひとおもいに死んだほうがましだ。

77 あの夜はなにかがありそうで



78 私たちのためにね



フェルナンド

1
太鼓がきこえるかいフェルナンド
とおい昔にもこんな夜があつたつけ
火にてらされてフェルナンド
ひとりであつたっていたね
そつとギターかきならしてき
かすかな太鼓とラッパの音が
遠くからくるのがきこえたよ
だんだん近づいてフェルナンド
時間がとまつちまつたみたいだつた
こわかつたよフェルナンド
私たちはわかくてげんきで
だれも死ぬ用意はできてなかつた
銃と大砲のうなり声で
泣きそうになつたこともいっていいさ
(リフレン)
あの夜はなにかがありそうで
星はかがやいていたよフェルナンド
私たちのためにね

自由のためさフェルナンド
まけるなんておもわなかつたが
くいはないさ
もう一度やれというなら
またやるさ、ねえフェルナンド

2

私たちはもう白髪だねフェルナンド
銃をもつたのも何年もみたことがないよ
太鼓がきこえるかいフェルナンド
おぼえているかいリオ・グランデをわたつた運命の夜を
目をみてわかつたよ、ほこりにおもつたね
このくにの自由のためにたたかうことを
(リフレン)
あの夜はなにかがありそうで
星はかがやいていたよフェルナンド
私たちのためにね
自由のためさフェルナンド
まけるなんておもわなかつたが
くいはないさ
もう一度やれというなら
またやるさ、ねえフェルナンド
そうだよ、もう一度やれというなら
またやるさ、ねえフェルナンド

やさしいスライドのうつし方

- *スライドをうつすのは、みんながらくにすわれるひろさのへやがいい。へやのなかのみんなからスクリーンがよくみえること。
- *スクリーンの位置をきめるかんたんなやり方。観客の最前列は映像の高さの二倍よりスクリーンに近くてはいけない。最後列は映像の高さの八倍以上遠くてもいい。
- *充分な数のいすを準備し、できるならあらかじめならべておく。よくみえるように、観客が映写機とスクリーンをむすぶ線にできるだけ近づくように、いすをならべる。
- *スクリーンがないときは、反射がよく、色を吸収しない表面をえらぶ。シートは色を吸収するのでよくない。白ペンキをぬった合板はいい。表面が光っていると、映写機の電球のてりかえしがでるからダメ。
- *カセットはつかう機械でチェックする。できればアンプをつかう。いい音がしなかったら、別な機械にかえる。
- *観客がくるまえに、スクリーンと映写機をすえつけ、スライドをいれ、レンズの焦点をあわせておく。
- *映写機の電源コードに人がつまづかないようなプラグをえらぶ。

集団で討論するための スライドのつかい方

- 1 ただしいタイミングをつかむために、スライドになじんでおく。
- 2 みせるときは、機材すべてをチェックし、あらかじめセットしておく。機材をセットするあいだ待たされるのは気がちることだし、スライドがさかさまになっていて映写を中断することになれば、もつとわるい。
- 3 何よりも、映写や活動にさきだつて観客についての予備知識がたいへん重要になる。だが観客になるのかを知るのは決定的だ。各スライド作品が労働者大衆、親たち、エリートといった集団的にをさだめているからだ。
- 4 観客の多くは最初の映写をたのしむ。魅力的な顔、うつくしい風景、感覚にうつつたえるすべてをみたがる。これを物理的水準とよぼう。
- 5 最初の映写のあと、主催者や映写する人は5〜10分の休みをとって映写をみんなに印象づける。物理的水準、つまり気もちのいい音楽、音響効果、風景など。
- 6 それから映写する人は二回目の映写の準備として、スライドの

電源コードが床のあいだにあっているところをほうようなら、つまづかないようにテープでとめておく。

*映像がスクリーンいっぱいになる方がいい。長方形のスライドだったら、たて位置とよこ位置のスライドの映像の、スクリーン上のただしい位置をチェックする。

*映写がゆがまないために、スクリーンの中心と映写機をあわせ、映写機の前側をかたむけないですむようにする。

*最初のスライドを映写される位置に置いておき、映写機のスイッチをいれたとき、観客はまっ白のまぶしいスクリーンではなくて、映写のはじまりがみえる状態にしておく。おなじく、最後のスライドをスクリーン上にして映写をおえる。へやのあかりをつけてから、最後のスライドをぬきとる。最後のスライドをぬく前に映写機のランプを消して、まっ白に光るスクリーンをさける。

*へやがくらくて、スライドがよくみえるかどうかたしかめる。ほかの光がスクリーンに流れないようにする。

*映写機のランプの予備をもっていること。

*最後に、映写全体を練習すること。ことばをしっているから映像もわかる、とおもうのはまちがっている。自分で時間をはかかっておく。映写をたたく計画すれば、時間がすこしづれるくらいで、あとはうまくいくはずだ。

細部に注意するようにみんなにいう。みききすることだけでなく、感じたりかんがえたりすることもたいせつ。

7 二回目の映写のあとで、みんながみつけたことの討論にうつる。討論は物理的水準、感情の水準、知的水準をふくむ。主催者側は質問をして、みんながスライド映写の意図や目的とすることを討論するたすけとならなければならない。集団がおおきすぎるばあい(徹底した討論のためには八人から十二人のグループがよい)、ちいさなグループにわけてもよい。各グループは書記か記録者を持ち、全体に報告する。

8 認識をふかめる期間——みんながスライドからみつけたこととがらの討論のあと、反省の段階がくる。そこでは、ひとりひとりがスライドでみた状況を自分の個人的経験や、グループの経験との関係で理解する。結論をだしてもよい。

9 スライド映写の目的が状況認識にあるなら、集団の反応や行動計画を書きとめておくのがよい。

10 スライド映写は行動へのよびかけのためのことでもある。会合をもって、みんなで計画をはなしあうようにすることもできる。映写が集団を組織するためのきっかけになることもある。

質問の例

- 1 いまみたことをどうおもいますか？
- 2 スライドのどこが印象にのこっていますか？ どこに感動しましたか？ なぜ？
- 3 映写をみながら何を感じましたか？ なぜ？
- 4 なぜあのようなことがおこったのか？ 原因や理由はなんだろう？
- 5 私たちにもこんなことがおこるだろうか？ いまみたことと、現実の状況とのかかわりはどこにあるのか？ 状況を変えるためにできることがあるだろうか？

スライドをみたあとで

- *スライドにほこりがつもったかどうかみる。
- *レンズ用ブラシでほこりをはらう。
- *指紋は乳剤のついていない（ひかる）側から、レンズ用の布でそっとふきとる。
- *スライドは湿気のない暗い場所にしまって、カビがはえないようにする。箱や戸だななかに豆電球をつけておけば、かわいた空気がたもたれる。

フィリピンの農民はどのように社会を変えるか

何世紀もフィリピン農民を搾取し、抑圧してきたのは植民地の宗主だけではない。地主もまったくはたらかないで収穫の一部をとっている。

その結果、フィリピン人は自分を、ものとしてみる。ぎゃくたいされ、無視され、けいべつされ、わらいものにされ、のけものにされる。それもかれらの野外労働でやしなわれている社会から。

それでもフィリピン農民は国の背骨だ。かれらなしでは、国はほろぶ。

かれらが齒車の齒となって、そのまわりをフィリピン社会全体の機構がまわっているといってもよい。

かれらが根となって、木の枝、葉、花、実を生かしている。

さて、どのようにフィリピン農民をうごかして、かれら自身と社

会全体を搾取と抑圧から解放するようにさせるのか？

何よりもさきに、じっさいにフィリピン農民とともに生き、くらし、はたらいで、かれらのゆめ、ねがい、のぞみを知り、体系化し、純化しなければならぬ。

かれらの存在の核心にじっさいにふれるのは、聖書のなかの神のことはをくりかえしかれらにおもいださせる、そんなときだ。「わが姿にせてヒトをつくり、ヒトを海の魚、空とぶ鳥、家畜とけだもの、地をはうものすべての主人としよう。」

自分たちがゴミのようにけちらされるのではなく、神の息子や娘たちであることをさとると、農民の多くは泣く。

自分たちが魂と心をもつ人間であることがわかるのだ。

次に、村レベルでのフィリピン社会の構造をかれらがぐらし、感

じるままに、かれらからひきだす。

質問1 あなたの職業は？

農業です。

質問2 農作業はどうですか？

いつもはくるしくて、みじめ。

質問3 なぜそんなことになって、いまもかわらないのでしょうか？

土地が自分のものではない。

収穫から手もとにのこる分がほとんどない。

収穫高がすくない。

生産者価格がたいへんひくく、必要経費が高い。

法外な地代。

物価高。

精米料が高い。

私たちは小作人だ。

質問4 なぜ自分の土地がないのですか？

わからない。

質問5 だれが土地をもっていますか？

調査員たち。

地主たち、政府の役人たち。

質問6 その人たちはどこにいますか？

町ではたらいたり、商売をしている。

(注釈・土地改革。大統領指令二号と二十七号)

質問1 針や糸、せつけん、ヴェトシン(きずにつける消毒薬)。

貧乏人は歯みがきにもつかう)、Tシャツなどを買いますか？
ええ。

質問2 こういう品物の値段で気がつくことは？

やはり値が上がりました。

質問3 こういうものをどこでかいますか？

華僑から。

質問4 華僑の商人はこういうものをどこからもつてくるのでしょうか？

工場から。

質問5 その工場は、あなたがかうようなものをつくるのに、何を

つかいますか？

機械や道具。

質問6 機械をうごかすのは何ですか？

ガソリン、石油。

質問7 石油をあつかうのはだれですか？

給油所。カルテックス、シェル、ゲティ、エッソ、ペトロ

ン、モビル。

(注釈・多国籍企業。石油産業機構の歴史)

このように抑圧的な構造の下にいるかれらの生活の経済、政治、

文化の側面にわたって、もっとたくさん質問をする。

残酷な搾取の構造を農民の意識によびおこすスタイルは、何回も

くりかえされる。村々で、地区で、国を三つにわけた地域で、最後

に全国的尺度で。

こうして、社会体制を破壊し、変える以外に道がないことを、農民はしる。

農民は自立組織がぜったい必要だとさとする。

かれらは富農、中農、貧農の階級別に自分たちを組織する。

仲間の農民をたずねて、三日間の意識化講習会でまなんだことを

しらせる。仲間もおなじ講習会をうけたいかどうか、たずねる。こ

んどは、それを村でひらくのだ。

講習会は村々でくりかえされ、自立組織がいくつもつくられてゆ

く。

農民のつくる住民組織はまず教育的・組織的活動をおこなう。

協同組合、共同体の経済計画、健康、生活記録、演劇活動の計画

がその活動をささえるだろう。

現在の社会を変えるかれらの任務を調整するために、フィリピン

農民は組織されたグループの間の交流をおこなう。これによって、

農民はフィリピン社会を変える上で、それぞれのしごとにおたが

いに影響しあうことができる。

さらに、相談会がひらかれ、あたらしい構造をつくりだすための行動方針を決定する。

最後に、どんなしごとを共同でやるときも、その前後に神のこと

水牛歌集

定価300円 送料140円

日本とアジアのあたらしい歌

一步もひくな / この詩は棄てても / カオル
の詩 / 労働者 / 白いハト / 声 / 朝日の色が
変わり / 雨をま / つイネ / めしは天 / 管制塔
の歌 / 機動隊 / かんがえろ / 母の歌 / 不屈の
民 / よねの歌 / 翻身 / 米のうた / 人と水牛
 / プリパ / 果し / ない波を渡るための歌

三里塚・野遊びの歌

スライド(54コマ)とテープ14分

貸出料(送料とも)3500円

原画 石毛博道 文 島 寛征
音楽 高橋悠治 朗読 齊藤晴彦
写真 大塚文夫 演出 龍村 仁
制作 鎌田 慧

申込は水牛編集委員会まで

郵便振替・東京4-91792

ばをふりかえって、かれらの活動の指針とする。
こうして神のこぼをよみかえすのは、フィリピン社会を変える
たたかいの、長くきびしい道につこうとすると、自分たちのしご
とと行動が完全で善なる存在にもとづいていることを、農民全員に
とって意味しているのだ。

上映会のおしらせ

ここに全ページ特集した「もうたくさんだ(FEDUP)」は、ミンダナオ島農民の状況を見たスライドです。それは第三世界の農民がおかれている状況の典型といえるでしょう。最近日本を訪問し、さまざまな運動と交流してかえった農民活動家がこのスライドを日本人のためにのこしていただきました。「水牛」編集委員会です。これをあずかり、日本人の運動が第三世界の運動に理解をふかめ、連帯をつよめるためにつかいたいとおもいます。まず東京周辺の読者を対象に、上映会を行います。

日時/5月24日(土)午後3時

所/新宿2丁目「スペース・アウラ」

このスライドをただみるだけでなく、それにもとづいた討論のなかから、第三世界にひらかれた草の根の文化創造をめざす「水牛」のありかたについても、読者といっしょにさぐっていきたいとおもいます。

上映会はその後、大阪でもやる予定です。ほかの場所でも、読者とのつながりをつくっ

ていきたいので、希望があれば、編集委員会まで申し込んでください。

スライドそのものも貸出します。音楽と音響効果はカセット・テープですが、ことばは上映する人たちが、その場で読み、必要なら補足説明をくわえなければなりません。作品として見るといよりは、意識化の教材として活用されるべきものです。見た人たちの反応も記録をとって、「水牛」におくりかえすようにしてください。

主題歌「フェルナンド」は、スウェーデンのボーカルグループ「アバ」のヒットソングです。日本でも「悲しきフェルナンド」というタイトルで、シングル盤がでています。



編集後記

6号では、運動の印刷技術を集めます。運動の自立は、印刷メディアをもたなくてはありえない。人民運動史は軽印刷技術発達史でもあります。

5号で休載した〈朝鮮語〉の学び方も再開されます。(U)

購読の御案内

*本誌は書店にはおきません。毎号確実に入手されるためには編集部にて予約購読の申し込みをしてください。発刊と同時に直送します。

*申し込みと送金は郵便振替(口座名「水牛編集委員会、口座番号東京四一九一七九二」または現金書留)でお願いします。住所、氏名、電話番号、何号からということをお知らせください。

*購読料は送料とも一年分三〇〇〇円、半年分一八〇〇円です。

水牛通信 第二巻第五号

一九八〇年五月十日発行

定価 二〇〇円

発行人 堀田正彦

発行所 水牛編集委員会

〒154東京都世田谷区新町2-15-13

八巻方

電話〇三(四二五)九六五八

振替口座東京四一九一七九二

印刷所 (株)トライプリントショップ